

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書



- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【京都市】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	京都市立山ノ内小学校 4年1組…37名, 4年2組…36名, 教員…2名 合計 78名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックについて知ると共に、障がいのある人に対する理解を深めることができるようにする。 ・障害者スポーツの選手の方の話を聞いたり競技実技体験をしたりする中で、障がいをもった方たちと共生する社会について考える。
5 取組内容	<p>○事前学習 「山ノ内ユニバーサルデザイン」(総合的な学習の時間)において、福祉をテーマとした「人にやさしい学校づくり」の学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのユニバーサルデザイン ・山ノ内小学校のユニバーサルデザイン <p>○当日の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 講師と選手の紹介 ② 講師の方からのお話 車いすの仕組みや操作方法 車いすバスケットについて



	<p>③ 車いす体験 ・車いすの操作（方向転換・Uターン）</p>  <p>④ クラス対抗車いすバスケットボールゲーム ⑤ 選手の方のお話 ・車いすバスケット選手になったきっかけ ・日常生活や選手としての生活 ・子どもたちに伝えたいこと</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競技用車いすに乗り，さらにバスケットボールをする体験をすることで，障害者スポーツに親しみを持ち，パラリンピックにも関心をもつことができた。 ・障がいのある方の生のお話を聞くことにより，どんなことがあってもくじけず，夢に向かって前向きに努力を積み重ねる生き方や，共生社会の必要性について考えることができた。 ・障がいの有無にかかわらず，すべての人に対してやさしい街・社会づくりが大切であるということをあらためて感じる事ができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生ということで，バスケットボールのゴールを低いものにした。(低学年用のパスゲームゴール) ・車いすを10台借用し，子どもたちが十分に体験できるようにした。 ・体験の前後に選手のお話を聞くことで，体験してみてより興味を持って話を聞いたり考えたりすることができた。
<p>8主な課題等</p>	<p>講師の方との事前打ち合わせの時間が十分取れなかった。グループ分けや移動が必要な活動について，前もって段取りを聞いていれば，もっとスムーズに進められた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度と同様に実施予定。 実施学年については検討</p>